

# 外国人材活用実態調査 調査結果の概要

令和元年11月11日  
鹿児島県外国人材受入活躍支援課  
株式会社九州経済研究所

<b>I 調査の概要</b>	<b>2</b>
<u>1 調査の目的</u>	3
<u>2 調査方法</u>	4
<u>3 調査期間</u>	5
<u>4 回収結果</u>	5
<u>5 本報告書を見る際の注意事項</u>	5
<b>II 調査結果</b>	<b>6</b>
<u>1 監理団体アンケート</u>	7
<u>2 事業者アンケート</u>	16
<b>III 参考</b>	<b>40</b>
<u>1. 監理団体アンケート調査票</u>	41
<u>2. 事業者アンケート調査票</u>	43

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本県においては、生産年齢人口の減少等に伴い、人手不足が深刻化しており、それを補う形で外国人労働者が増加している。また、新たな在留資格「特定技能」の創設により、今後、更に外国人労働者の増加が見込まれている。

このような中、県内における外国人労働者（主に外国人技能実習生及び特定技能外国人）の活用状況や課題、今後の受入れのニーズ等を把握し、外国人材の安定的な受入れ、活躍を推進するための環境整備に活用するため、以下のとおり調査・分析を行う。

## 2 調査方法

### (1) 調査対象

- ① 県内の監理団体（24先）
- ② 県内の外国人技能実習生雇用事業者（185先）
- ③ 県内の外国人未雇用事業者を含む事業者（1,000先）

### (2) 抽出・調査方法

上記区分	抽出方法	調査方法
①	厚生労働省が公表する「監理団体一覧」による県内の監理団体	郵送によるアンケートおよびヒアリング
②	「①」へのヒアリングによる県内の技能実習生受入事業者	郵送によるアンケート
③	総務省「事業所母集団DB」から「製造業、農業(畜産含む)、建設業、介護事業、宿泊業、飲食業」の県内事業者を無作為抽出	

### (3) 調査項目

上記区分	調査項目
①	団体概要、技能実習生の受入状況、技能実習生の受入予想、特定技能について、外国人材の受入れにあたっての課題 等
②、③	団体概要、外国人労働者の受入状況、外国人労働者の受入予想・理由、外国人材の受入れに関する意見 等

### 3 調査期間

上記区分	調査期間
①	令和元年8月22日(木)～令和元年9月6日(金)
②、③	令和元年9月12日(木)～令和元年9月25日(水)

### 4 回収結果

上記区分	配布数		回答数	回収率
①	24		20	83.3%
②	185		95	51.4%
③	合計	1,000	376	37.6%
	製造業	208	87	41.8%
	農業(畜産含む)	56	31	55.4%
	建設業	294	124	42.2%
	介護事業	92	42	45.7%
	宿泊業	47	21	44.7%
	飲食業	303	65	21.5%
	業種不明		6	-

### 5 注意事項

- 図表の「N」の数値は、質問に対する回答の総数を表す。
- 割合(%)は、端数処理(小数点第二位で四捨五入)の関係で、合計が100%とならないものがある。また、割合が0.1%以下となる数値については、0.0%と表記している。
- 複数回答の設問は、全ての百分率(%)を合計すると、通常100%を超える。
- 他設問とのクロス集計については、同じ調査対象者に行った他の設問とのクロスを記載している。

## Ⅱ 調査結果

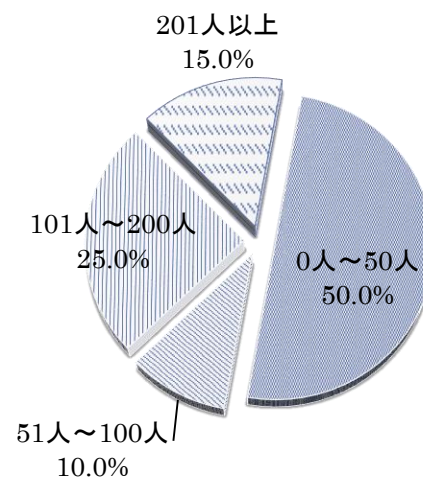
# 1 監理団体アンケート

## 1 監理団体アンケート

### (1) 技能実習生の実績

【1監理団体あたりの技能実習生数】

- 2019年7月末の県内監理団体の技能実習生は、1監理団体あたり「0人～50人」が50.0%と最も多く、次いで「101人～200人」が25.0%、「201人以上」が15.0%である。
- 2019年7月末の県内監理団体の技能実習生を合計すると、2,216名（1監理団体あたり平均110名）である。
- 国別では、「ベトナム」が75.0%と最も多く、次いで「中国」が10.2%、「フィリピン」が9.4%である。



(N=20)

送出し国名	技能実習生(人)			
	合計(割合)	平均値	中央値	
①ベトナム	1,661 (75.0%)	83	23	
②中国	226 (10.2%)	11	16	
③フィリピン	209 (9.4%)	10	42	
④インドネシア	94 (4.2%)	5	17	
⑤カンボジア	26 (1.2%)	1	4	
⑥ミャンマー	0 (0.0%)	0	0	
⑦ネパール	0 (0.0%)	0	0	
⑧その他	0 (0.0%)	0	0	
合計	2,216 (100.0%)	110	54	

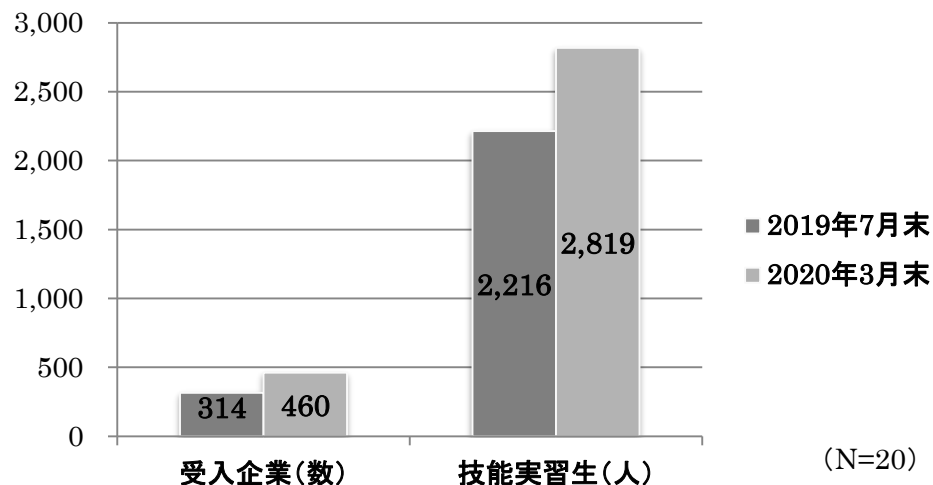


# 1 監理団体アンケート

## (2) 技能実習生の受入予想

- 2020年3月末の受入企業数は、2019年7月末より146社（1.46倍）増加予定である。
- 2020年3月末の技能実習生数は、2019年7月末より603人（1.27倍）増加予定である。

【受入企業および技能実習生数の受入予想】



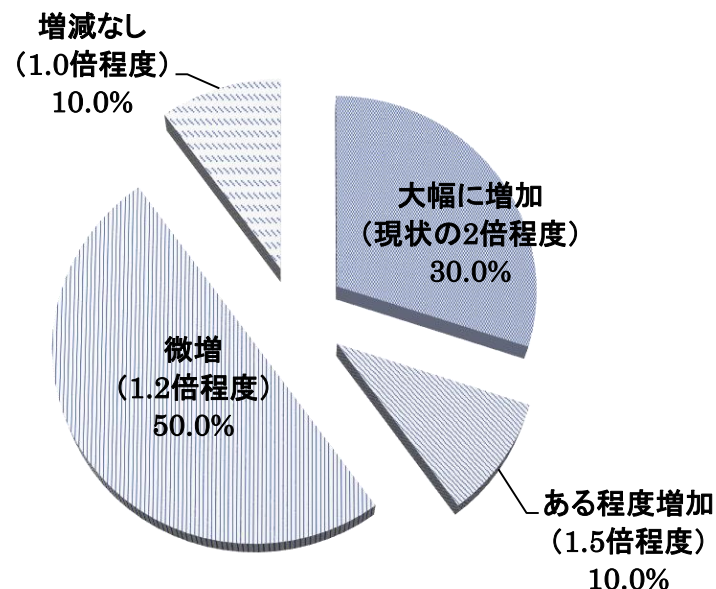
	2019年7月末実績		2020年3月末予想		増減	
	合計	平均	合計	平均	合計	倍率
受入企業(数)	314	15.7	460	23	146	1.46
技能実習生(人)	2,216	110	2,819	140	603	1.27

# 1 監理団体アンケート

## (3) 今後5年間での見通し (その1)

- 受入企業数は、「微増 (1.2倍程度)」が50.0%と最も多く、次いで「大幅に増加 (2.0倍程度)」が30.0%、「ある程度増加 (1.5倍程度)」および「増減なし (1.0倍程度)」が10.0%である。
- 技能実習生数は、全体で「微増 (1.2倍程度)」が45.0%と最も多く、次いで「大幅に増加 (2.0倍程度)」が35.0%、「ある程度増加 (1.5倍程度)」が20.0%である。
- 技能実習生数別で見ると、「大幅に増加 (2.0倍程度)」の割合は「51人~100人」が50.0%と最も多く、「微増 (1.2倍程度)」の割合は、「101人~200人」が60.0%と最も多い。

【受入企業数の見通し】

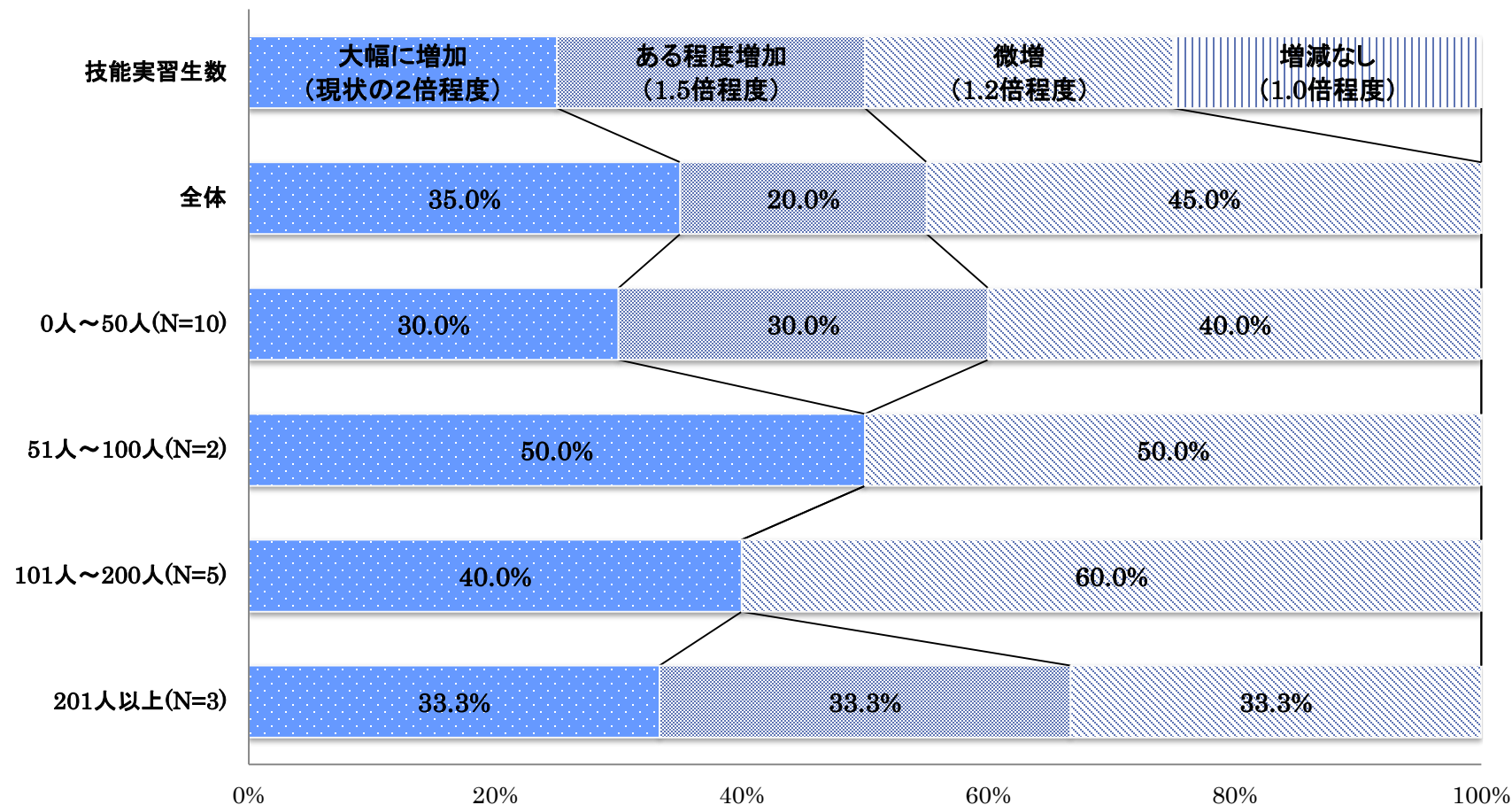


(N=20)

# 1 監理団体アンケート

## (3) 今後5年間の見通し (その2)

【技能実習生数別の状況】



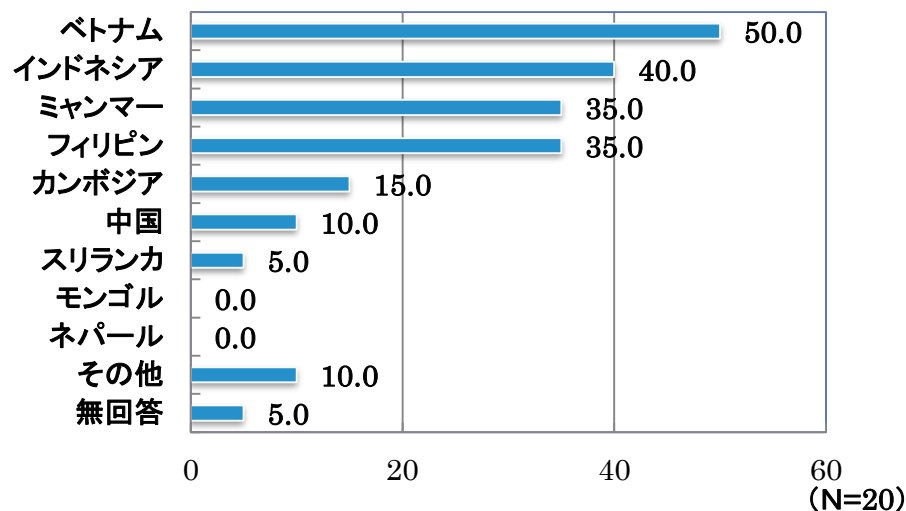


# 1 監理団体アンケート

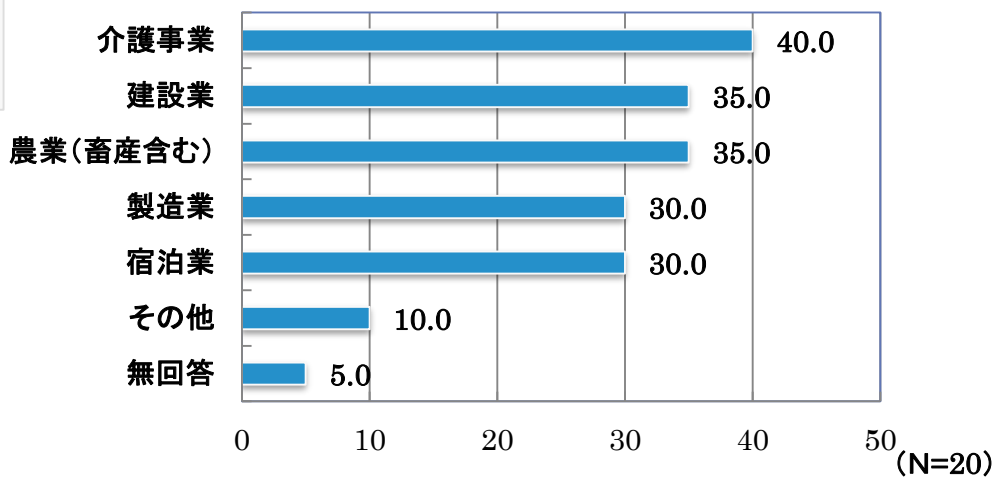
## (4) 今後、技能実習生の受入れが有望な送出し国および業種

- 今後更に5年間で、技能実習生の受入れが有望な（増加が見込まれる）送出し国は、「ベトナム」が50.0%と最も多く、次いで「インドネシア」が40.0%、「ミャンマー」および「フィリピン」が35.0%である。
- 今後更に5年間で、技能実習生の増加が特に見込まれる業種は、「介護事業」が40.0%と最も多く、次いで「建設業」および「農業（畜産含む）」が35.0%である。

【今後有望な送出し国（複数回答）】



【今後増加が特に見込まれる業種（複数回答）】

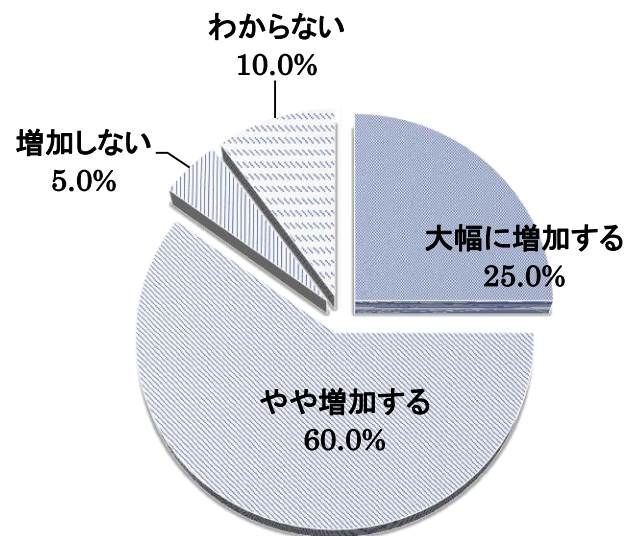


# 1 監理団体アンケート

## (5) 特定技能外国人の受入れ見通し

- 特定技能外国人の受入れ見通しは、「やや増加する」が60.0%と最も多く、次いで「大幅に増加する」が25.0%、「わからない」が10.0%である。
- 大幅に増加する理由は「今後の認知度向上」、「技能実習よりも広範囲な職種」等、やや増加する（大幅に増加しない理由）は「都市部との賃金格差による転職」、「企業側の受入体制整備不足」等の意見が多い。

【特定技能外国人の受入れ見通し】



(N=20)

# 1 監理団体アンケート

## 【特定技能外国人の受入れ見通しに関する主な意見】

- 大幅に増加する
  - ✓ 外国人材受入れについては、今後も技能実習生が中心。特定技能については、今はまだ様子を見ている関係者が多い。今後は不透明だった部分もクリアになってくるので、そうなれば特定技能も大幅に増加する。
  - ✓ 技能実習生については、職種が限定されているが、特定技能は、14分野であれば職種に係らず受入れが可能であるため、増加する。
- やや増加する
  - ✓ 特定技能は技能実習2号、3号からの移行が中心になる。外国人を受け入れたことのない企業にとってハードルは高いので、まだまだ技能実習生中心になる。
  - ✓ 特定技能の受入れは、経費が外国人技能実習生に比べて少なくすむので増加する。
  - ✓ 技能実習の3年と、特定技能の5年（1号）とあわせて、8年間雇用できる点が良いが、特定技能の2号は移行できる業種が限定され、最長で5年と制限されている点が雇用側には魅力として写らない。
  - ✓ 特定技能は賃金の面などで都市部が魅力的。県内では技能実習の方が受入れやすい。
  - ✓ 需要はあるが、企業側の制度に関する認知度不足や住居確保等の体制整備が不十分。
- 増加しないまたはわからない
  - ✓ 賃金の差（都市圏）がある為、特定技能の場合、都市圏に集まりやすい状況。
  - ✓ 技能実習生は、都会（関東、関西方面）を希望しているのが多数で、県内希望はほとんどいない。特定技能1号での雇入れは、時給870円ぐらい出さないと難しい。

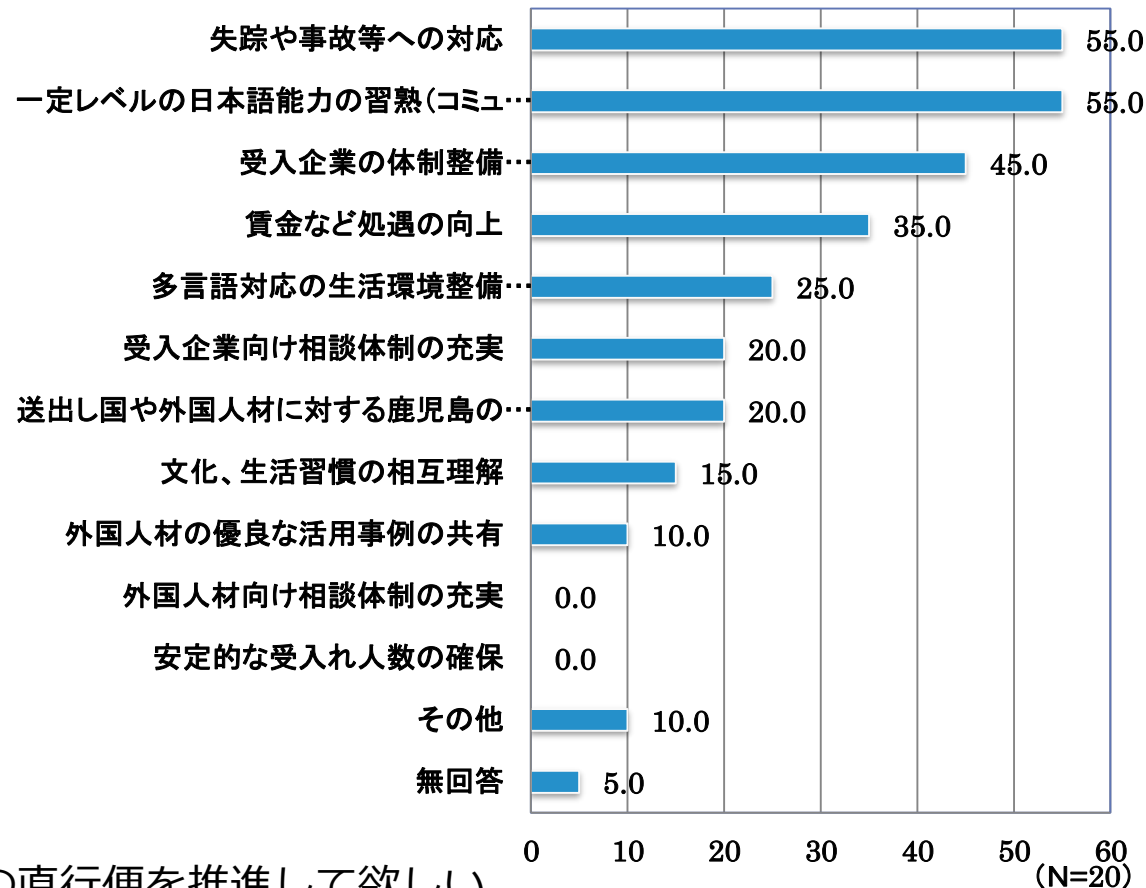
など

# 1 監理団体アンケート

## (6) 外国人材受入れの課題

- 外国人材受入れの重要度、優先度の高い課題は、「失踪や事故等への対応」および「一定レベルの日本語能力の習熟（コミュニケーション）」が55.0%と最も多く、次いで「受入企業の体制整備」が45.0%、「賃金など処遇の向上」が35.0%である。

【外国人材受入れの重要度、優先度の高い課題（複数回答）】



### 【主な自由意見】

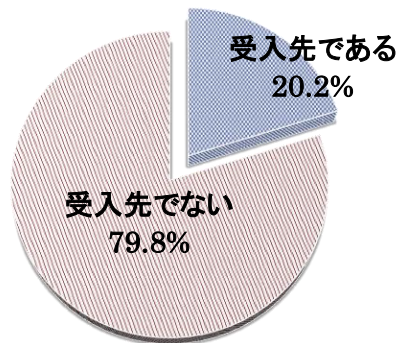
- 鹿児島とベトナム（ハノイ市）の直行便を推進して欲しい。
- 居住の確保も難しいので、空き家対策等の助成を行って欲しい。
- 公営住宅の入居を認めて欲しい。
- 鹿児島県で技能検定試験が受けられないケースがあるため、県内での技能検定試験が受けられる様にして欲しい（技能実習生を移行対象職種で受入れた際の1号から2号または2号生から3号生に移行する際の技能検定試験）。



## 2 事業者アンケート

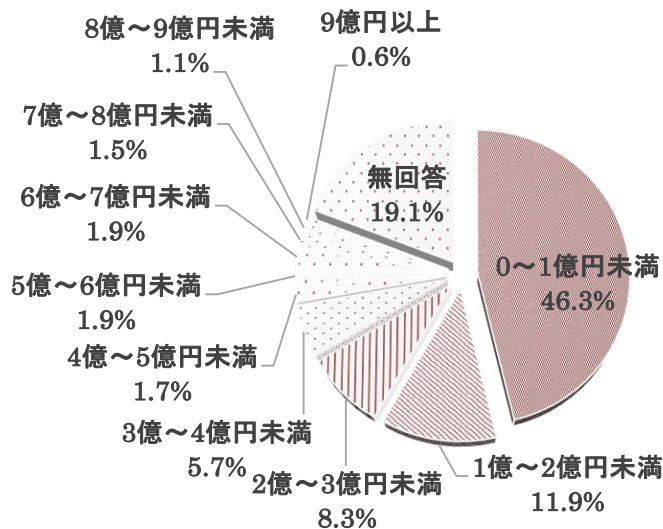
### (1) 属性

【外国人労働者（技能実習生含む）の受入先】



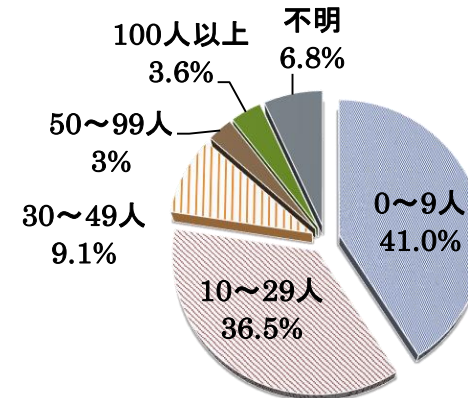
(N=471)

【売上高】



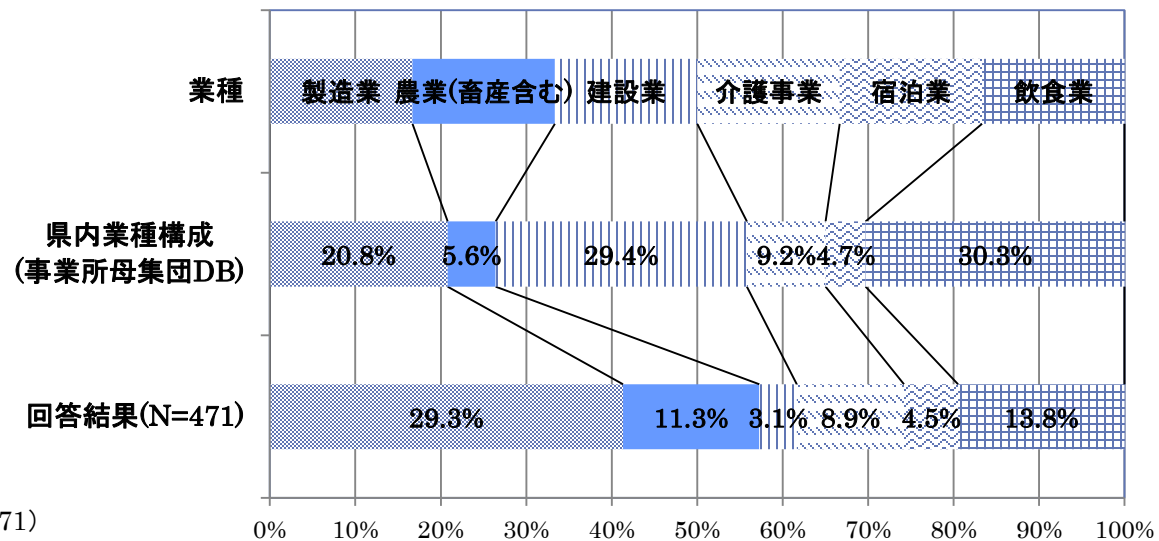
(N=471)

【従業員数】



(N=471)

【業種】

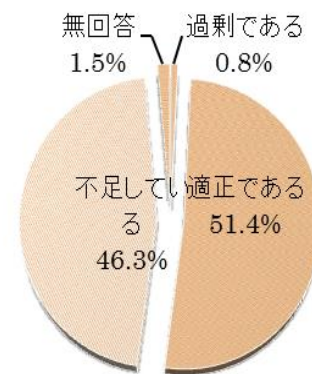


## 2 事業者アンケート

### (2) 人手の過不足感

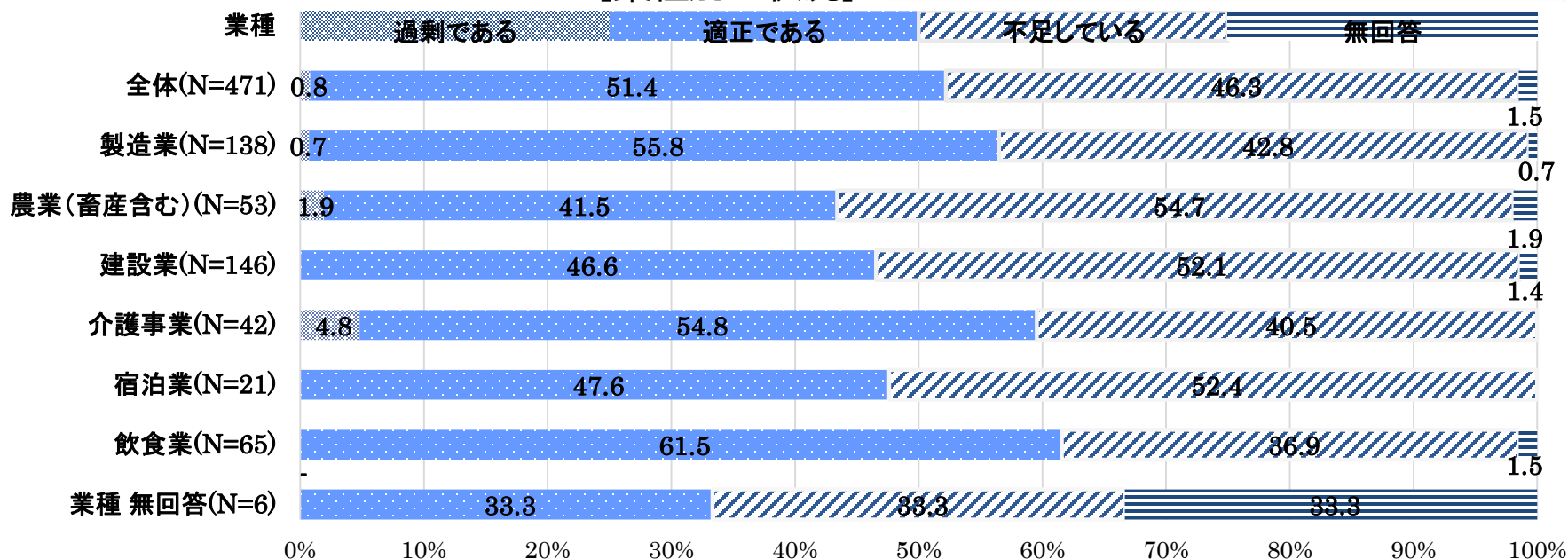
- 人手は、「適正である」が51.4%と最も多く、次いで「不足している」が46.3%、「過剰である」が0.8%である。
- 業種別に見ると、「農業（畜産含む）」、「建設業」、「宿泊業」において「不足している」が最も多く、その他の業種は「適正である」が最も多い。

【人手について】



(N=471)

【業種別の状況】

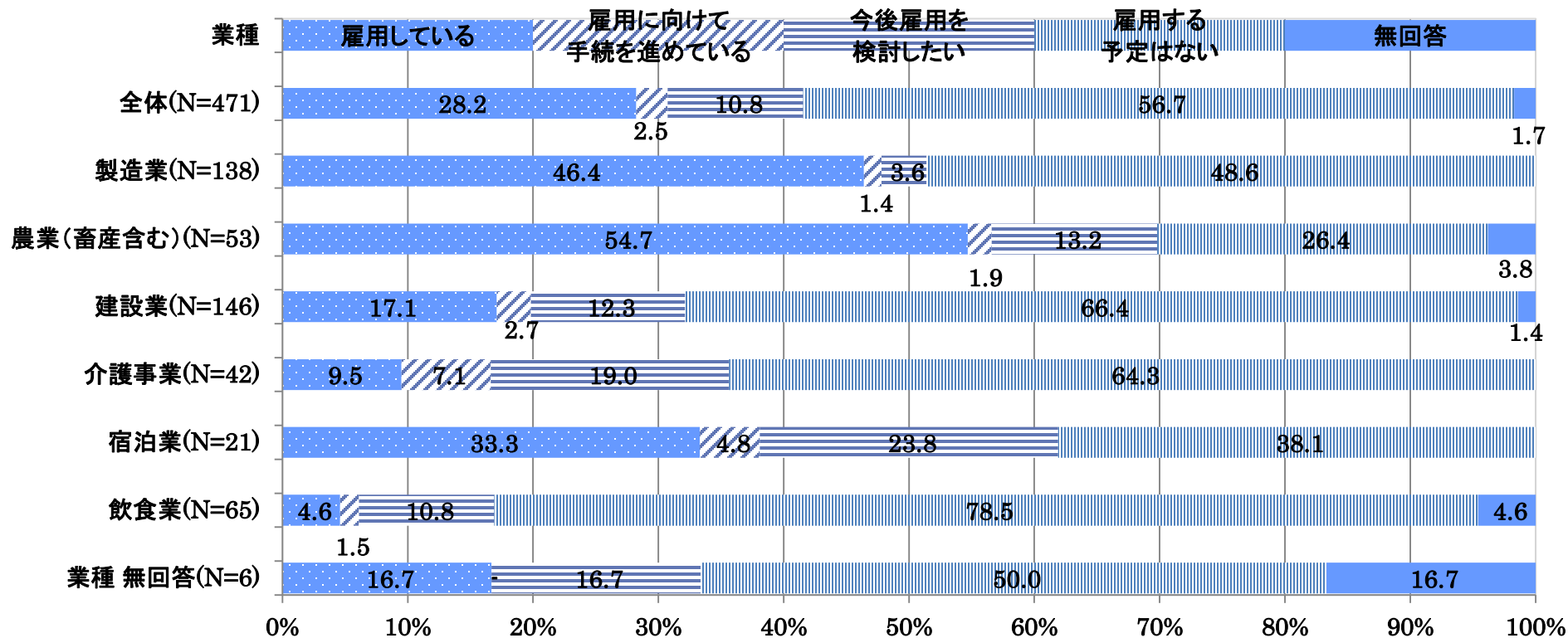


## 2 事業者アンケート

### (3) 外国人労働者の雇用（2019年7月末）（その1）

- 外国人労働者の雇用は「雇用する予定はない」が56.7%と最も多く、次いで「雇用している」が28.2%、「今後雇用を検討したい」が10.8%である。
- 業種別に見ると、「雇用している」は「農業（畜産含む）」が54.7%と多く、「雇用する予定はない」は「飲食業」が78.5%と最も多い。

【業種別の状況】



## 2 事業者アンケート

### (3) 外国人労働者の雇用（2019年7月末）（その2）

【業種別の状況】

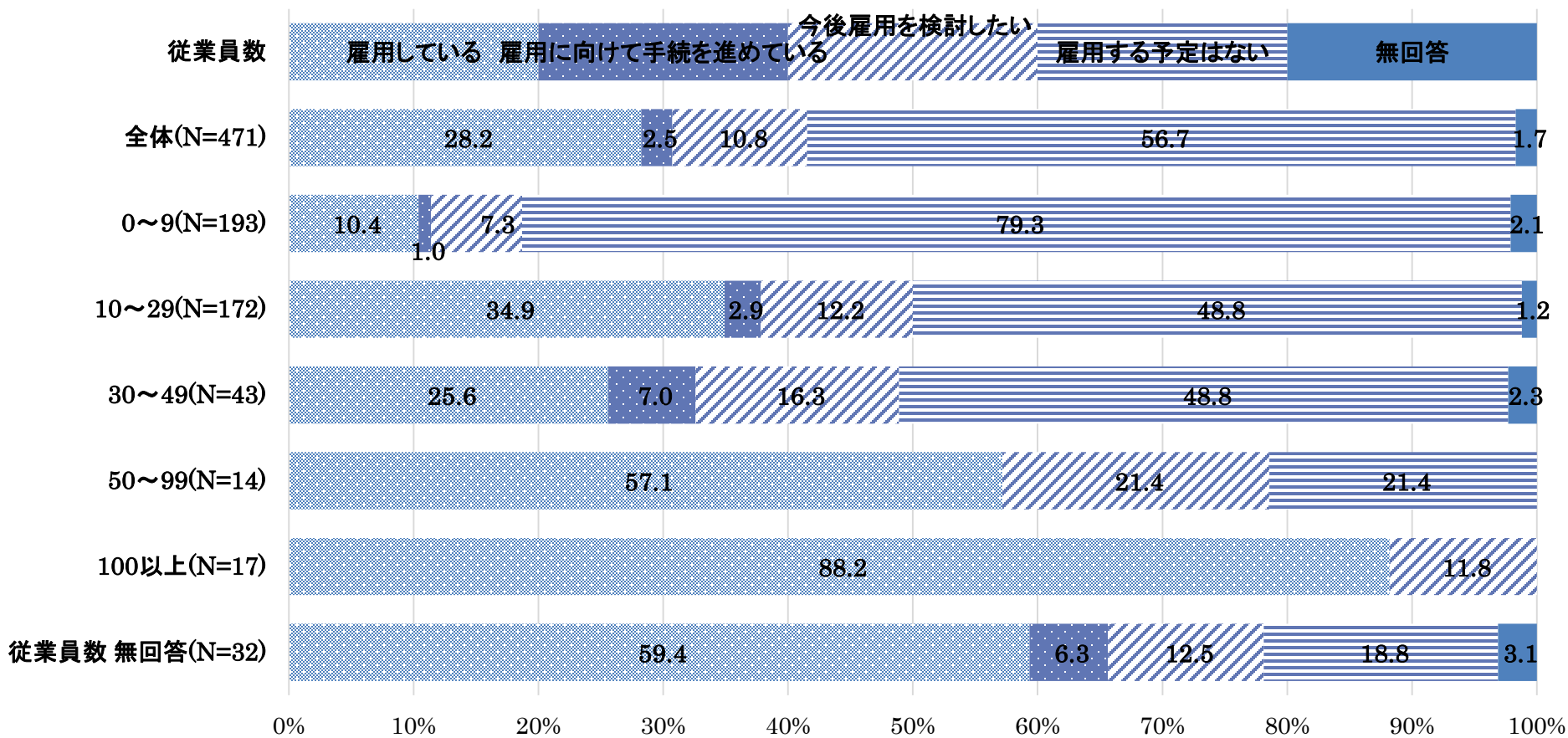
上段:度数 下段:%		問2 外国人労働者を雇用しているか						
		合計	雇用している	雇用に向けて 手続を進 めている	今後雇用を 検討したい	雇用する予 定はない	無回答	
業種	全体	471 100.0	133 28.2	12 2.5	51 10.8	267 56.7	8 1.7	
	製造業	138 100.0	64 46.4	2 1.4	5 3.6	67 48.6	- -	
	農業(畜産含む)	53 100.0	29 54.7	1 1.9	7 13.2	14 26.4	2 3.8	
	建設業	146 100.0	25 17.1	4 2.7	18 12.3	97 66.4	2 1.4	
	介護事業	42 100.0	4 9.5	3 7.1	8 19.0	27 64.3	- -	
	宿泊業	21 100.0	7 33.3	1 4.8	5 23.8	8 38.1	- -	
	飲食業	65 100.0	3 4.6	1 1.5	7 10.8	51 78.5	3 4.6	
	その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	無回答	6 100.0	1 16.7	- -	1 16.7	3 50.0	1 16.7	

## 2 事業者アンケート

### (3) 外国人労働者の雇用（2019年7月末）（その3）

- 従業員別に見ると、「雇用している」は従業員「100人以上」が88.2%と最も多く、「雇用する予定はない」は従業員「0～9人」が79.3%と最も多い。

【従業員数別の状況】



## 2 事業者アンケート

### (3) 外国人労働者の雇用（2019年7月末）（その4）

【従業員数別の状況】

上段:度数 下段:%		問2 外国人労働者を雇用しているか					
		合計	雇用している	雇用に向けて 手続を進 めている	今後雇用を 検討したい	雇用する予 定はない	無回答
従業員数	全体	471 100.0	133 28.2	12 2.5	51 10.8	267 56.7	8 1.7
	0～9	193 100.0	20 10.4	2 1.0	14 7.3	153 79.3	4 2.1
	10～29	172 100.0	60 34.9	5 2.9	21 12.2	84 48.8	2 1.2
	30～49	43 100.0	11 25.6	3 7.0	7 16.3	21 48.8	1 2.3
	50～99	14 100.0	8 57.1	- -	3 21.4	3 21.4	- -
	100以上	17 100.0	15 88.2	- -	2 11.8	- -	- -
	不明	32 100.0	19 59.4	2 6.3	4 12.5	6 18.8	1 3.1

## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ①外国人労働者の送出し国および労働者数（2019年7月末現在）（その1）

- 外国人を「雇用している」と回答した企業の外国人労働者数の合計は1,512人（平均11.5人）である。
- 国別では、「ベトナム」が53.0%と最も多く、次いで「フィリピン」が17.4%、「中国」が13.2%である。

送り出し国名	外国人労働者数(人、割合)	
①ベトナム	802	(53.0%)
②中国	199	(13.2%)
③フィリピン	263	(17.4%)
④インドネシア	188	(12.4%)
⑤カンボジア	7	(0.5%)
⑥ミャンマー	22	(1.5%)
⑦ネパール	9	(0.3%)
⑧その他	18	(1.8%)
合計	1,512	(100.0%)

## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ①外国人労働者の送出し国および労働者数（2019年7月末現在）（その2）

【送出し国別の状況】

	0～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人以上	無回答
①ベトナム(N=89)	79.3%	10.9%	1.1%	3.3%	0.0%	2.2%	3.3%
②中国(N=22)	68.2%	18.2%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%
③フィリピン(N=28)	75.9%	10.3%	3.4%	0.0%	0.0%	6.9%	3.4%
④インドネシア(N=5)	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
⑤カンボジア(N=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑥ミャンマー(N=4)	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ネパール(N=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧その他(N=7)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計(N=133)	74.4%	15.0%	2.3%	3.8%	1.5%	2.3%	0.8%



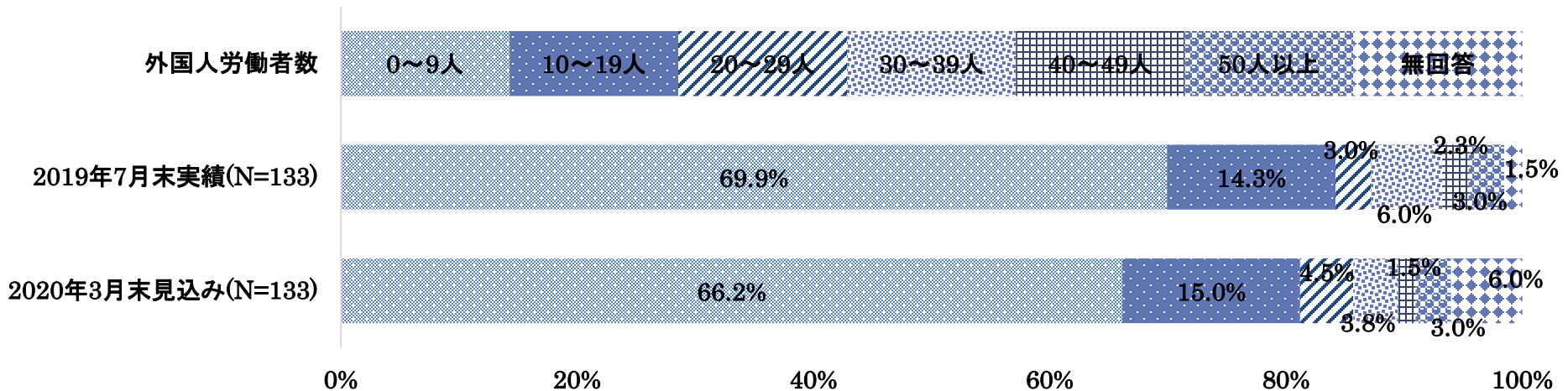
## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ②外国人労働者の雇用実績および2020年見込み

- 2019年7月末実績の外国人労働者数は合計1,687人、2020年3月末見込みの外国人労働者数は1,647人であり、44人減であり、年度末による外国人労働者の帰国等が要因と考えられる。

【外国人労働者数】



	2019年7月末実績	2020年3月末見込み	増減
外国人労働者(人)	1,687	1,643	▲44

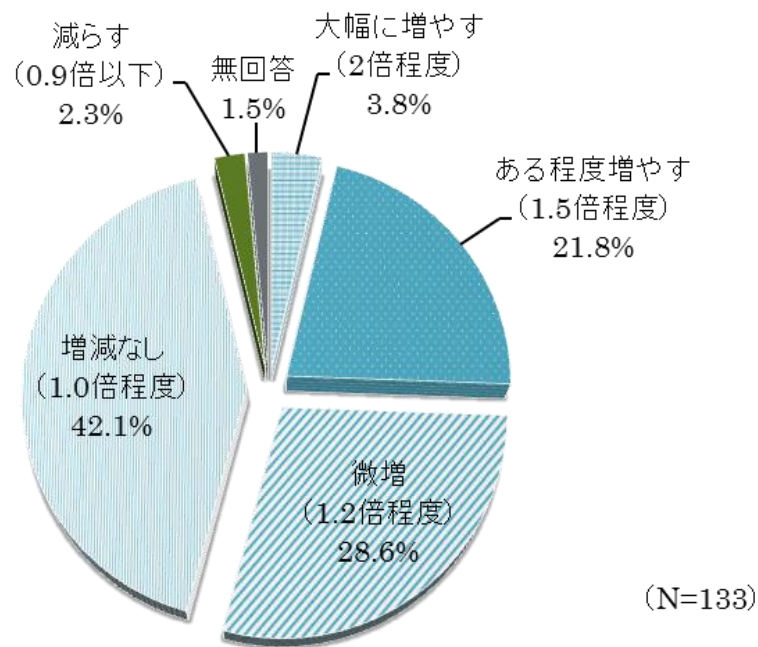
## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ③ 今後5年間の外国人労働者の受入れ見込み（その1）

- 今後5年間の受入れ見込みは、「増減なし（1.0倍程度）」が42.1%と最も多く、次いで「微増（1.2倍程度）」が28.6%、「ある程度増やす（1.5倍程度）」が21.8%である。

【今後5年間の外国人労働者の受入れ見込み】



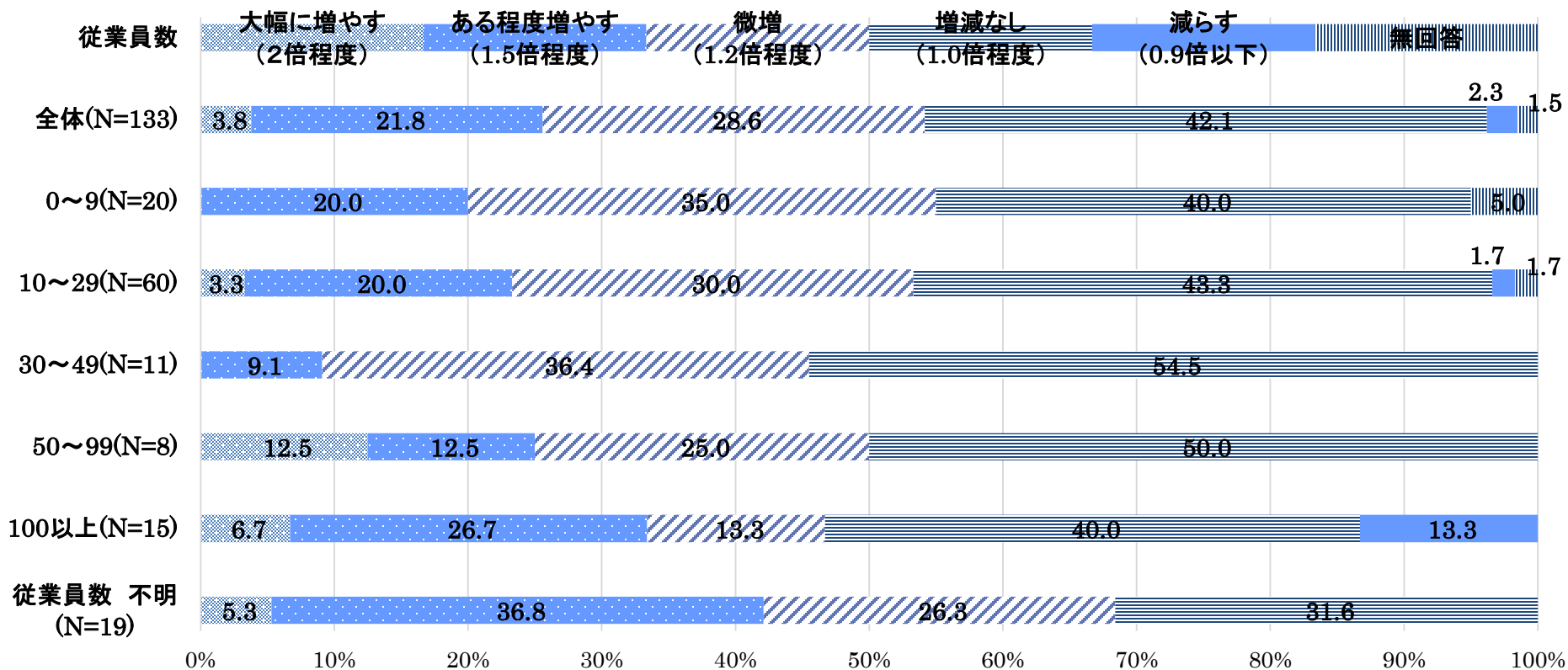
## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ③ 今後5年間の外国人労働者の受入れ見込み (その2)

- 従業員数別で見ると、「大幅に増やす (2倍程度)」の割合は「50人~99人」が12.5%と最も多い。

【従業員数別の状況】



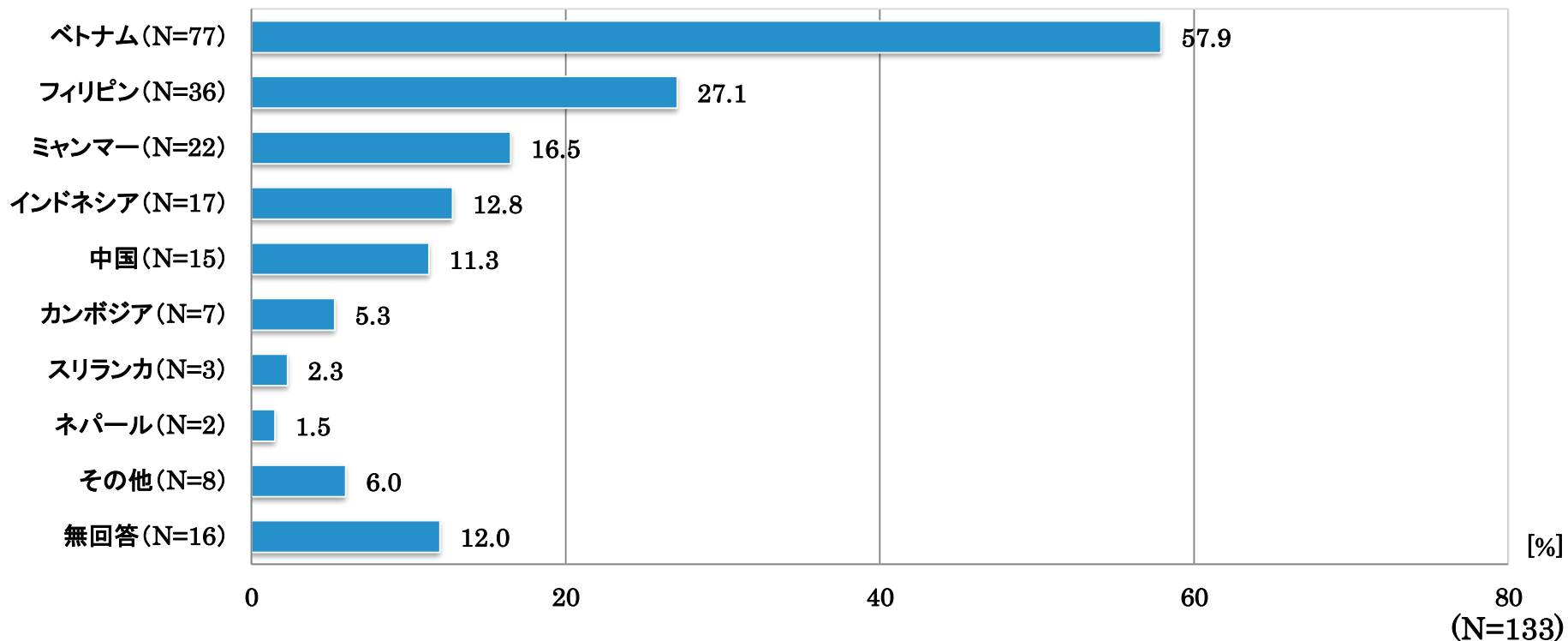
## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ④ 今後5年間で受入れを増やしたい送り出し国

- 今後5年間で受入れを増やしたいと送り出し国は、「ベトナム」が57.9%と最も多く、次いで「フィリピン」が27.1%、「ミャンマー」が16.5%である。

【今後5年間で受入れを増やしたい送り出し国（複数回答）】



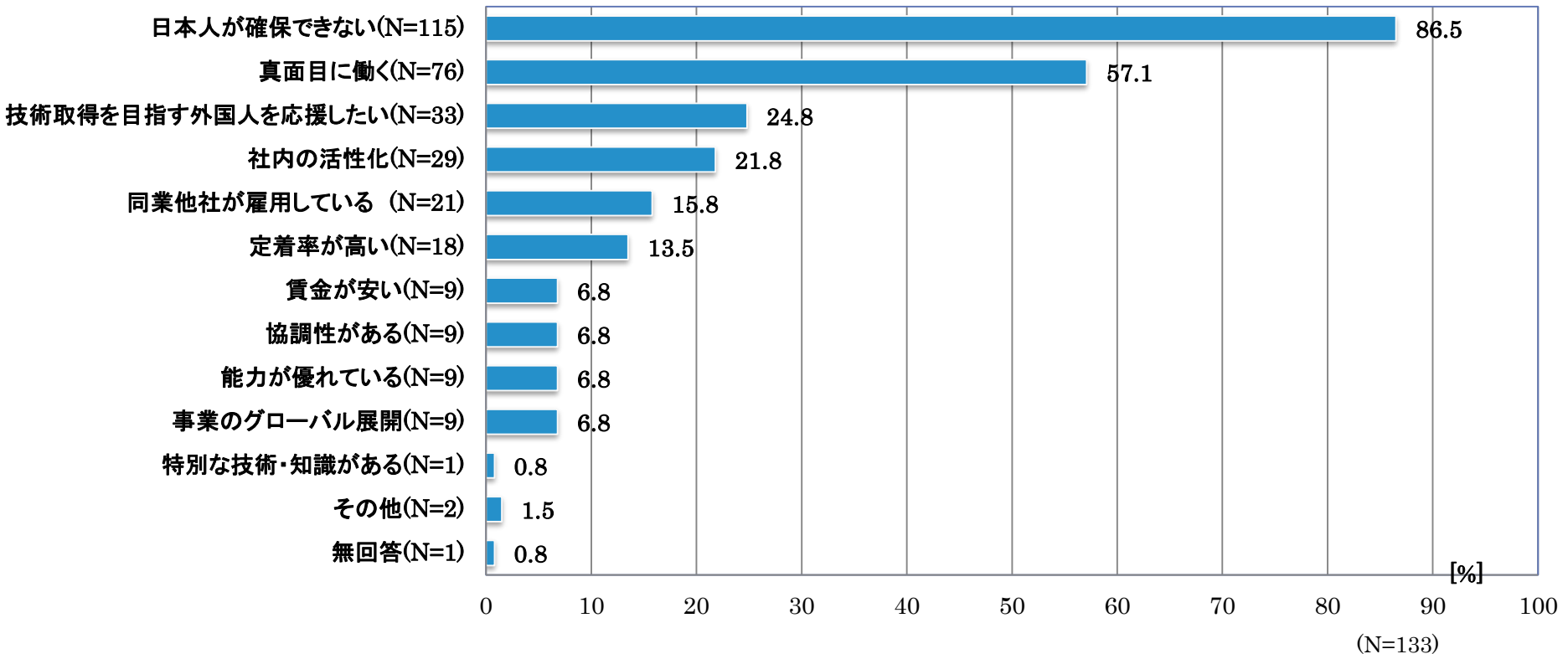
## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ⑤外国人を雇用する理由

- 外国人を雇用する理由は、「日本人が確保できない」が86.5%と最も多く、次いで「真面目に働く」が57.1%、「技術取得を目指す外国人を応援したい」が24.8%である。

【外国人を雇用する理由（複数回答）】



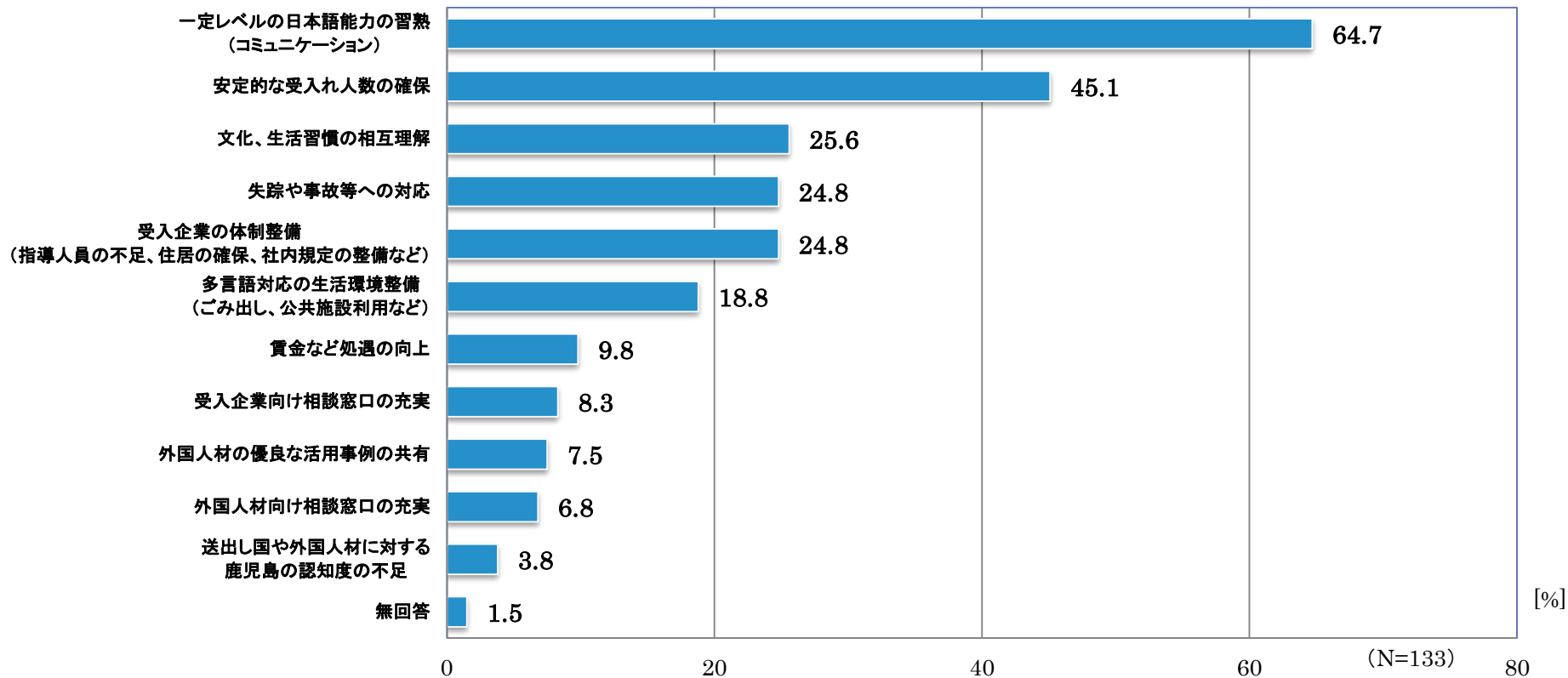
## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ⑥外国人材受入れの際の課題

- 外国人材受入れの重要度、優先度の高い課題は、「一定レベルの日本語能力の習熟（コミュニケーション）」が64.7%と最も多く、次いで「安定的な受け入れ人数の確保」が45.1%、「文化、生活習慣の相互理解」が25.6%である。

【外国人材受入れの際の課題（複数回答）】



## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ⑦その他外国人材受入れに関する意見・要望等（その1）

- ✓ まめに動きまじめに働いてくれて助かっている。
- ✓ 日本の生活習慣(ゴミ出し、部屋の片付け等)を慣習化させてから来日させてほしい。
- ✓ 日本語の理解力が不足している人がいる。語学力が問題だと思う。日本の生活習慣に慣れない人も多い。
  
- ✓ 受入時の初期投資と毎月の組合への監理費が高い。
- ✓ 現在受入れをしている技能実習生は仕事も良く覚えて頑張ってくれているが、初期費用、監理費など思っていた以上に費用がかかるので大変。3年後にまた受け入れをするかは今のところ分からない。
  
- ✓ 外国人実習生の実習期間を3年（延長5年）から5年（延長7年）くらいに延ばして欲しい。
- ✓ 外国人労働者に対する雇用のセミナー等を多数企画して欲しい。
- ✓ 技能講習の資格取得について、県内では特別教育のみしか取得できない。技能講習の取得の際は、通訳を入れられなかったりするので福岡、広島など県外に連れて行かないと講習を受講できない。県内で受講出来る様になるともっと良いのでは。例えば、玉掛けなどは必須なのでは。

## 2 事業者アンケート

### (4) 外国人を「雇用している」企業

#### ⑦その他外国人材受入れに関する意見・要望等（その2）

- ✓ テレビやインターネット等で外国人が劣悪な環境、低賃金で働かされているという報道を見ると、実態を知らない人が見たら、日本で働いている全ての外国人労働者がそのような扱いを受けていると勘違いされてしまうのではと思います、雇用している側としては腹立たしく思う。そのような状況になるのは、外国人労働者の方にも問題があることもたくさんあるので、全て企業側が悪いというような報道をもっと控え、企業が努力している点も報道して欲しい。
- ✓ 技能実習生を4名受け入れ、うち2名が翌月に失踪した。当初から失踪するつもりで入国していたようである。受入れにあたって多額の費用を負担した。今後も受入れを希望しているが、どうしたらいいのかわからなくなる。
- ✓ 賃金未払い、長時間労働、残業しても支払わない、失踪したら雇用主が悪いなどとテレビ、新聞等で報道される。私達も日本人社員も実習生と一緒に、毎日働き楽しく仲良く生活している。それでも失踪されることがあり、本当にショックを受ける。そういう子達は、出国する時からそのつもりで来ているとしか思えない。又は、インターネットで好条件があると、だまされて失踪しているのかもしれない。

など



## 2 事業者アンケート

### (5) 「雇用に向けて手続きを進めている」または「今後雇用を検討したい」企業

#### ①外国人労働者の雇用見込み（その1）

- 外国人労働者の雇用見込みの合計は、2020年3月末見込みが36人、2025年3月末見込みが236人であり、200人の増加である。
- 1企業あたりの雇用見込みは、2020年3月末見込みで「0人」が76.2%、2025年3月末見込みで「2人」が27.0%と最も多く、1企業当たり平均で3.3人の増加である。

【（参考）技能実習生を雇用する場合の概算コスト】

**技能実習生の一般的な給与水準として、社会保険料、税金、家賃、水道光熱費等控除後の手取額で月額10～12万円以上（総支給額で13.5～15万円以上）が必要といわれています。**

**また、受入れのための初期費用（日本語教育費用、旅費など）や、送出し機関、監理団体へ支払う手数料などの費用もかかります。**

**これらを合わせた金額を時給換算すると、実習生1人あたり時給1,000～1,200円程度のコストがかかるといわれています。**

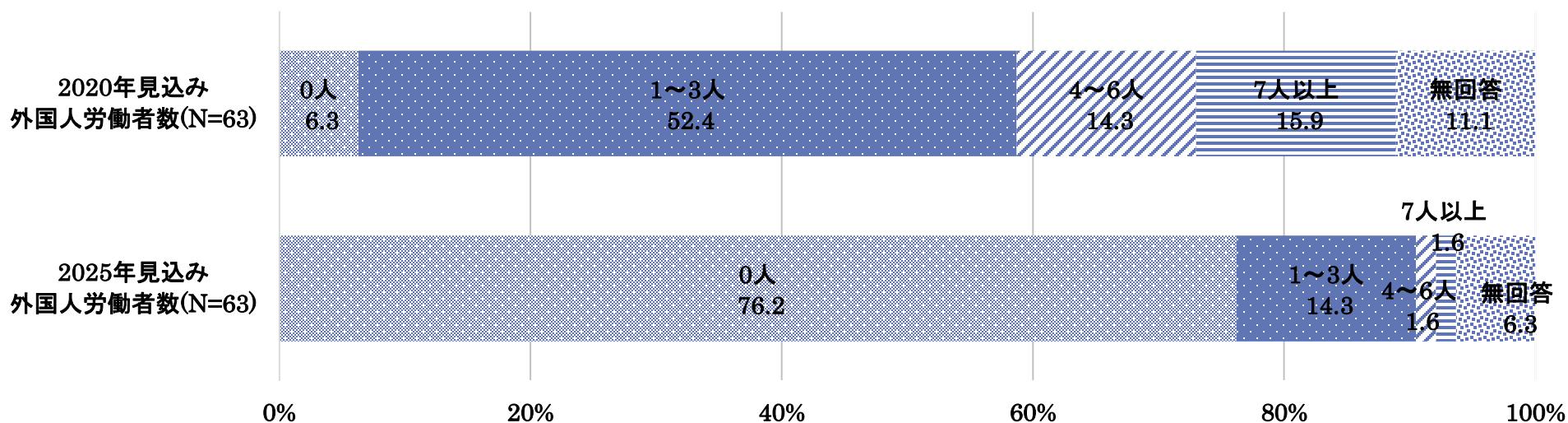
## 2 事業者アンケート

### (5) 「雇用に向けて手続を進めている」または「今後雇用を検討したい」企業 ①外国人労働者の雇用見込み（その2）

【外国人労働者の雇用見込み】

	2020年3月末見込み	2025年3月末見込み	増減
外国人労働者(合計)	36	236	36
(1企業あたり平均)	0.6	3.9	3.3

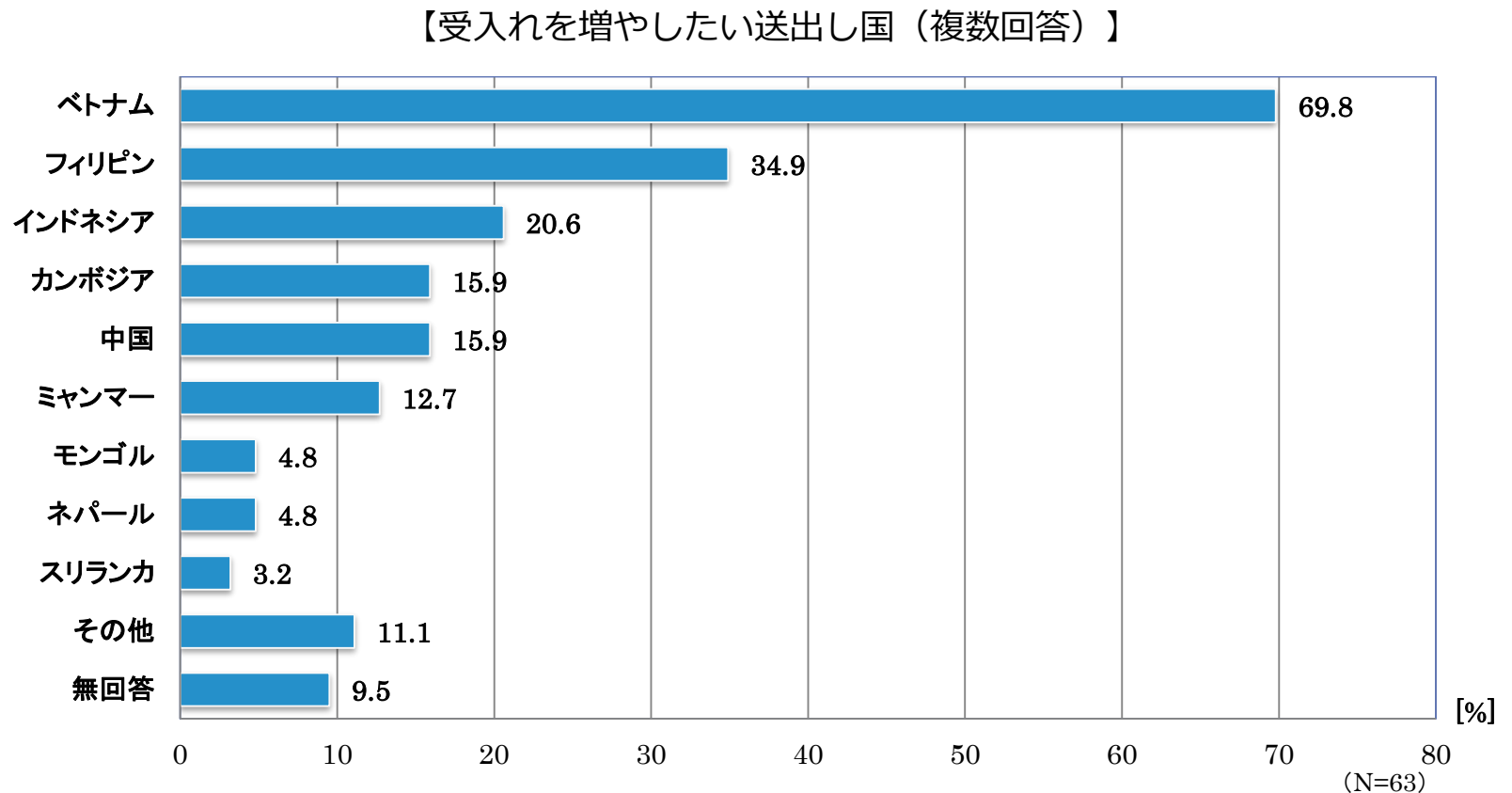
【外国人労働者の雇用見込み】



## 2 事業者アンケート

### (5) 「雇用に向けて手続を進めている」または「今後雇用を検討したい」企業 ② 今後5年間で、受入れを増やしたい送出し国

- 受入れを増やしたい送出し国は、「ベトナム」が69.8%と最も多く、次いで「フィリピン」が34.9%、「インドネシア」が20.6%である。



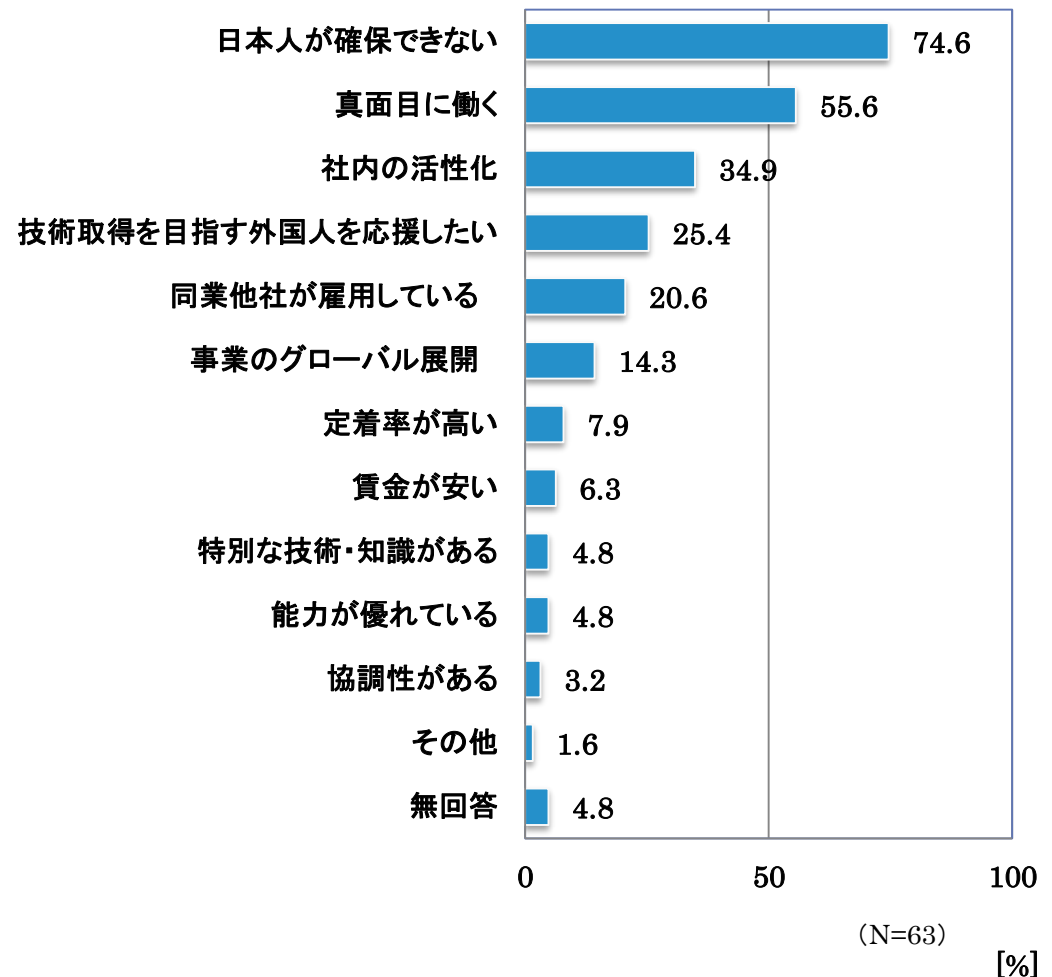
## 2 事業者アンケート

### (5) 「雇用に向けて手続を進めている」または「今後雇用を検討したい」企業

#### ③外国人の雇用を検討する（したい）理由

【外国人を雇用する（したい）理由（複数回答）】

- 外国人を雇用する（したい）理由は、「日本人が確保できない」が74.6%と最も多く、次いで「真面目に働く」が55.6%、「社内の活性化」が34.9%である。



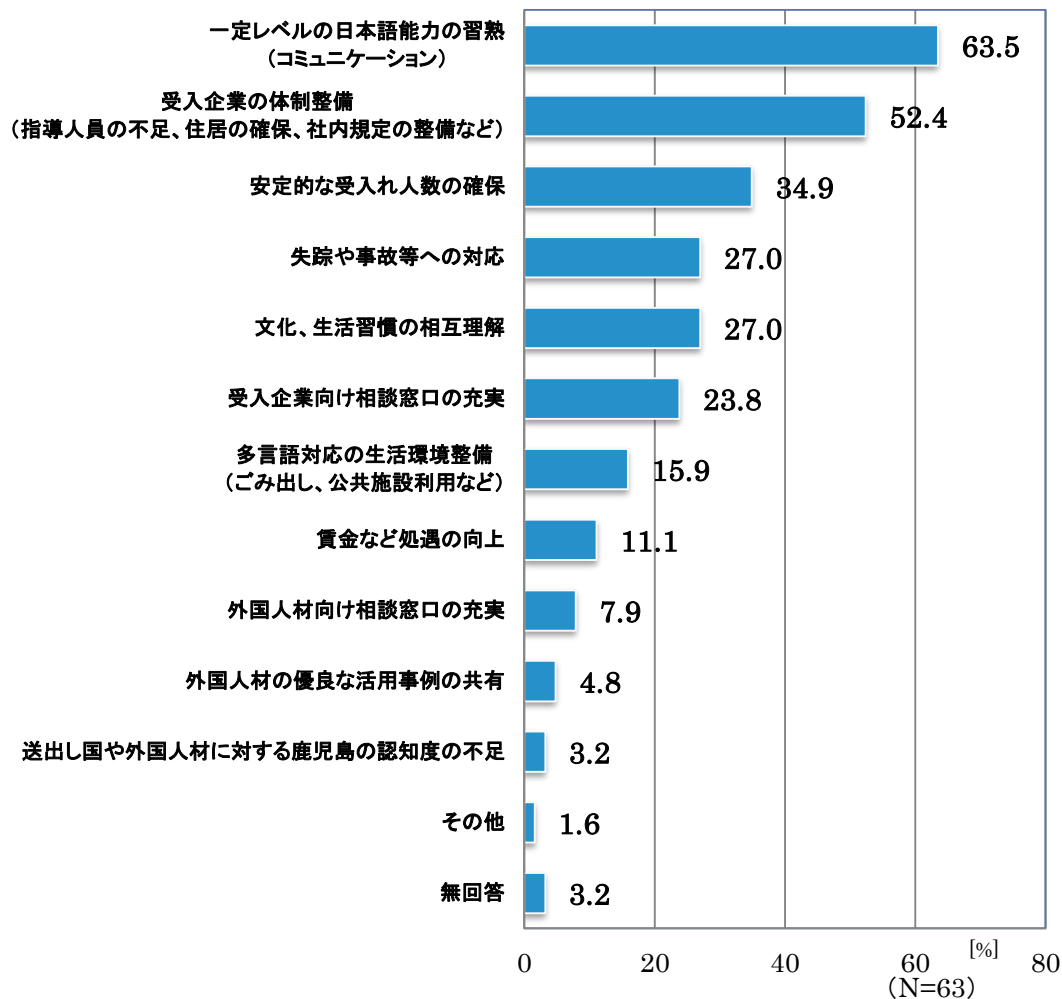
## 2 事業者アンケート

### (5) 「雇用に向けて手続を進めている」または「今後雇用を検討したい」企業

#### ④外国人受入れの際の課題

【外国人受入れの際の課題（複数回答）】

- 受入れの重要度、優先度の高い課題は、「一定レベルの日本語能力の習熟」が63.5%と最も多く、次いで「受入企業の体制整備」が52.4%、「安定的な受入れ人数の確保」が34.9%である。



## 2 事業者アンケート

### (5) 「雇用に向けて手続を進めている」または「今後雇用を検討したい」企業

#### ⑤ その他外国人材受入れに関する主な意見・要望等

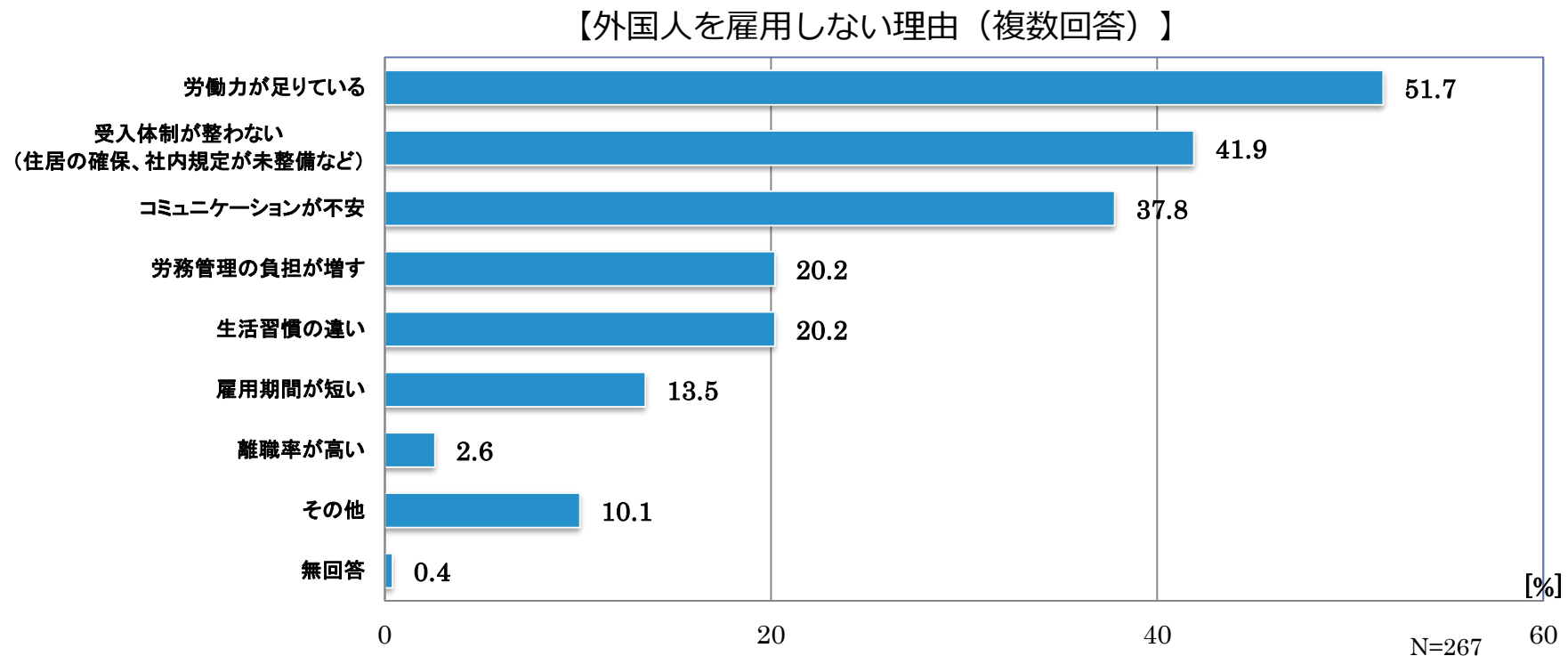
- ✓ 良い人材は採用してみたい。
- ✓ 離島などは、都市部と比較して賃金が安い為、来てくれるか疑問。離島、農村では、逆に生活費が掛からない事、東南アジア系との生活環境に類似性がある事をアピールする事で、募集に応じてくれればと思う。又、そのことを伝える環境が欲しい。
- ✓ 技能実習生は、せっかく技能を身につけても数年で帰国しないと聞いている。長く働いてもらうことはできないか。
- ✓ 本当は日本人が良い。介護職の処遇改善及び介護事業所の安定経営のため、介護報酬の増額が何よりも必要だ。
- ✓ 初期費用が少し高いと思う。 など

## 2 事業者アンケート

### (6) 外国人を「雇用する予定はない」企業

#### ①外国人を雇用しない理由

- 外国人を雇用しない理由は、「労働力が足りている」が51.7%と最も多く、次いで「受入体制が整わない」が41.9%、「コミュニケーションが不安」が37.8%である。
- 業種別に見ると、「農業（畜産含む）」、「介護事業」の最も多い理由は「受入体制が整わない」である。







## III 参考

# 1. 監理団体アンケート調査票

## 外国人材受入に関するアンケート調査

2019年8月22日

各監理団体 代表者各位

鹿児島県商工労働水産部外国人材受入活躍支援課  
《調査受託会社》株式会社九州経済研究所

### 【アンケートへのご協力のお願い】

鹿児島県では、本年4月に「外国人材受入活躍支援課」を新設し、今後も更なる増加が予想される外国人材が安心して活躍できる地域づくりの推進に取り組んでいます。

本調査は、人手不足の深刻化により外国人材の活用を希望する企業等が増加している状況を踏まえ、外国人材の安定的な受入体制の整備や、外国人材が安心して働き、暮らせる環境整備等を推進するための基礎資料を収集することを目的として、県内監理団体様を対象に、外国人材技能実習生の受入状況や今後の見込み、受入れにあたっての課題等をお尋ねするために行うものです。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮でございますが、アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

なお、ご回答いただいた情報につきましては、個別の内容を公表したり、上記の目的以外に使用することはありません。

### 《ご記入にあたってのお願い》

- 回答方法
  - 質問は、回答を選択するものと記述するものがあります。
  - 回答は、原則として現時点（2019年7月末時点）でお願いします。
  - 回答を選択するものは、質問ごとに（1つに○）、（3つまで○）など回答方法が記載されていますので、それに従い選択してください。
  - 「その他」に○をつけた場合は、（ ）の中にお答えの内容を具体的にご記入ください。
- 回答期限：2019年9月6日（金）  
ご回答いただいた調査票については、同封の返信用封筒にて投函してください。（切手不要）
- お問い合わせ先  
ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。  
《調査受託会社》  
株式会社九州経済研究所 企画戦略部  
TEL/099-248-8691 FAX/099-226-5975 E-mail/kikaku@ker.co.jp  
（担当：酒匂、横山、上園）  
《委託元》  
鹿児島県商工労働水産部外国人材受入活躍支援課  
TEL/099-286-3080 E-mail/g-ukeire@pref.kagoshima.lg.jp（担当：山澤津）

## 1. 貴団体の概要について

貴団体の概要について、空欄部分にご記入ください。

貴団体名			
代表者名		ご回答者名	

## 2. 技能実習生の受入状況について

問1 送出国および技能実習生数について、空欄部分にご記入ください。（2019年7月末現在）

送出国及び 技能実習生数	送出国名	技能実習生（人）
	①ベトナム	( )
②中国	( )	( )人
③フィリピン	( )	( )人
④インドネシア	( )	( )人
⑤カンボジア	( )	( )人
⑥ミャンマー	( )	( )人
⑦ネパール	( )	( )人
⑧その他 ( )	( )	( )人
	合計	( )人

## 3. 今後の技能実習生の受入予想について

問2 2020年3月末における貴団体の技能実習生の送出国数、受入企業数及び技能実習生数はどの程度になると予想されますか。2019年実績と合わせて教えてください。

	2019年7月末実績	2020年3月末見込み
送出国（数）		
受入企業（数） （実習実施者）		
技能実習生（人）		

# 1. 監理団体アンケート調査票

問3 今後更に5年間で、貴団体の受入企業数の見通しはどのようになると思われますか。  
(1つに○)

- |                   |                   |               |
|-------------------|-------------------|---------------|
| 1 大幅に増加 (現状の2倍程度) | 2 ある程度増加 (1.5倍程度) |               |
| 3 微増 (1.2倍程度)     | 4 増減なし (1.0倍程度)   | 5 減少 (0.9倍以下) |

問4 今後更に5年間で、貴団体の技能実習生数の見通しはどのようになると思われますか。  
(1つに○)

- |                   |                   |               |
|-------------------|-------------------|---------------|
| 1 大幅に増加 (現状の2倍程度) | 2 ある程度増加 (1.5倍程度) |               |
| 3 微増 (1.2倍程度)     | 4 増減なし (1.0倍程度)   | 5 減少 (0.9倍以下) |

問5 問3、4のご回答についてそのように考える理由や、今後の技能実習生受入れの見通しに係る見解などについて、ご記入ください。

問6 今後更に5年間で、技能実習生の受入れが有望な(増加が見込まれる)送出国はどこになるとと思われますか。(3つまで○)

- |         |            |         |         |
|---------|------------|---------|---------|
| 1 中国    | 2 インドネシア   | 3 フィリピン | 4 ベトナム  |
| 5 ミャンマー | 6 ネパール     | 7 スリランカ | 8 カンボジア |
| 9 モンゴル  | 10 その他 ( ) |         |         |

問7 今後更に5年間で、技能実習生の増加が特に見込まれる業種は何になるとと思われますか。  
(3つまで○)

- |       |            |       |        |
|-------|------------|-------|--------|
| 1 製造業 | 2 農業(畜産含む) | 3 建設業 | 4 介護事業 |
| 5 宿泊業 | 6 その他 ( )  |       |        |

## 4. 特定技能について

問8 2019年4月に特定技能外国人受入制度が開始されましたが、今後、県内において特定技能外国人の雇用が増加すると思われますか。(1つに○)

- |           |          |         |         |
|-----------|----------|---------|---------|
| 1 大幅に増加する | 2 やや増加する | 3 増加しない | 4 わからない |
|-----------|----------|---------|---------|

問9 問8のご回答についてそのように考える理由や、今後の特定技能外国人受入れの見通しに係る見解などについて、ご記入ください。

## 5. 外国人材の受入れにあたっての課題等について

問10 外国人材の受入れにあたり、重要度、優先度の高い課題について、あてはまる番号をお選びください。(3つまで○)

- |                                      |                           |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1 安定的な受入れ人数の確保                       | 2 送出国や外国人材に対する鹿児島県の認知度の不足 |
| 3 受入企業の体制整備(指導人員の不足、住居の確保、社内規定の整備など) |                           |
| 4 外国人材の優良な活用事例の共有                    | 5 賃金など処遇の向上               |
| 6 受入企業向け相談体制の充実                      | 7 外国人材向け相談体制の充実           |
| 8 一定レベルの日本語能力の習熟(コミュニケーション)          |                           |
| 9 文化、生活習慣の相互理解                       |                           |
| 10 多言語対応の生活環境整備(ごみ出し、公共施設利用など)       |                           |
| 11 失踪や事故等への対応                        | 12 その他(具体的に: )            |

問11 これまでの設問へのご回答に関する具体的な補足事項、その他外国人材受入れに関するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて9月6日(金)までにポストにご投函ください。

## 2. 事業者アンケート調査票

### 外国人材受入に関するアンケート調査

2019年9月12日

各企業 代表者各位

鹿児島県商工労働水産部外国人材受入活躍支援課

《調査受託会社》株式会社九州経済研究所

#### 【アンケートへのご協力のお願い】

鹿児島県では、本年4月に「外国人材受入活躍支援課」を新設し、今後も更なる増加が予想される外国人材が安心して活躍できる地域づくりの推進に取り組んでいます。

本調査は、人手不足の深刻化により外国人材の活用を希望する企業等が増加している状況を踏まえ、外国人材の安定的な受入体制の整備や、外国人材が安心して働き、暮らせる環境整備等を推進するための基礎資料を収集することを目的として、県内事業者を対象に外国人技能実習生など外国人労働者の受入状況や今後の見込み、受入れにあたっての課題等をお尋ねするために行うものです。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、ご回答いただいた情報につきましては、個別の内容を公表したり、上記の目的以外に使用することはありません。

#### 《ご記入にあたってのお願い》

- 1 回答方法
  - 質問は、回答を選択するものと記述するものがあります。
  - 回答は、原則として現時点（2019年7月末時点）でお願いします。
  - 回答を選択するものは、質問ごとに（1つに○）、（3つまで○）など回答方法が記載されていますので、それに従い選択してください。
  - 「その他」に○をつけた場合は、（ ）の中にお答えの内容を具体的にご記入ください。
- 2 回答期限：2019年9月25日（水）  
ご回答いただいた調査票については、同封の返信用封筒にて投函してください。（切手不要）
- 3 お問い合わせ先  
ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。  
《調査受託会社》  
株式会社九州経済研究所 企画戦略部  
TEL/099-248-8691 FAX/099-226-5975 E-mail/kikaku@ker.co.jp  
（担当：酒匂、横山、上園）  
《委託元》  
鹿児島県商工労働水産部外国人材受入活躍支援課  
TEL/099-286-3080 E-mail/g-ukeire@pref.kagoshima.lg.jp（担当：山澤津）

- 1 -

#### 貴社の概要について

貴社の概要について、空欄部分にご記入ください。

貴社（事業所）名		業 種	
所在地		T E L	
代表者名		ご回答者名	

問1 貴社の人手は足りていますか（1つに○）

1 過剰である      2 適正である      3 不足している

問2 現時点（2019年7月末）で、外国人労働者を雇用していますか。（1つに○）

1 雇用している	→	P 3～P 4（問3～問9）にお進みください
2 雇用に向けて手を進めている	}	P 5～P 6（問10～問15）にお進みください
3 今後雇用を検討したい		
4 雇用する予定はない	→	P 7（問16～問17）にお進みください

- 2 -

## 2. 事業者アンケート調査票

問2で外国人を「1 雇用している」と回答した企業にお伺いします。

問3 現在の外国人労働者の送出国及び労働者数を空欄にご記入ください。  
(2019年7月末現在)

送出国及び 外国人労働者数	送出国名	外国人労働者(人)
	①ベトナム	( )人
②中国	( )人	
③フィリピン	( )人	
④インドネシア	( )人	
⑤カンボジア	( )人	
⑥ミャンマー	( )人	
⑦ネパール	( )人	
⑧その他( )	( )人	
	合計	( )人

問4 貴社の外国人労働者の雇用実績(2019年7月末)について、送出国数及び外国人労働数を教えてください。また、あわせて2020年見込みについて教えてください。

	2019年7月末実績	2020年3月末見込み
送出国(数)		
外国人労働者(人)		

問5 問4でお答えいただいた2019年7月末実績を基準として、今後更に5年間の貴社の外国人労働者の受入見込みについて教えてください。(1つに○)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 大幅に増やす(2倍程度) | 2 ある程度増やす(1.5倍程度) |
| 3 微増(1.2倍程度)   | 4 増減なし(1.0倍程度)    |
| 5 減らす(0.9倍以下)  |                   |

問6 今後更に5年間で、外国人労働者の受入れを増やしていきたいと考えている送出国はどこですか。(3つまで○)

- |         |           |         |         |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1 中国    | 2 インドネシア  | 3 フィリピン | 4 ベトナム  |
| 5 ミャンマー | 6 ネパール    | 7 スリランカ | 8 カンボジア |
| 9 モンゴル  | 10 その他( ) |         |         |

問7 貴社が外国人を雇用する理由についてあてはまる番号をお選びください。(いくつでも○)

- |               |                     |               |
|---------------|---------------------|---------------|
| 1 事業のグローバル展開  | 2 社内の活性化            | 3 同業他社が雇用している |
| 4 日本人が確保できない  | 5 技術取得を目指す外国人を応援したい |               |
| 6 能力が優れている    | 7 協調性がある            | 8 定着率が高い      |
| 9 特別な技術・知識がある | 10 真面目に働く           | 11 賃金が安い      |
| 12 その他( )     |                     |               |

- 3 -

問8 貴社における外国人材の受入れにあたり、重要度、優先度の高い課題について、あてはまる番号をお選びください。(3つまで○)

- |                                      |                           |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1 安定的な受入れ人数の確保                       | 2 送出国や外国人材に対する鹿児島県の認知度の不足 |
| 3 受入企業の体制整備(指導人員の不足、住居の確保、社内規定の整備など) |                           |
| 4 外国人材の優良な活用事例の共有                    | 5 賃金など処遇の向上               |
| 6 受入企業向け相談窓口の充実                      | 7 外国人材向け相談窓口の充実           |
| 8 一定レベルの日本語能力の習熟(コミュニケーション)          |                           |
| 9 文化、生活習慣の相互理解                       |                           |
| 10 多言語対応の生活環境整備(ごみ出し、公共施設利用など)       |                           |
| 11 失踪や事故等への対応                        |                           |
| 12 その他(具体的に: )                       |                           |

問9 これまでの設問へのご回答に関する具体的な補足事項、その他外国人材受入れに関するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

問2で外国人を「1 雇用している」と回答した企業の回答は以上です。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて9月25日(水)までにポストにご投函ください。

- 4 -

## 2. 事業者アンケート調査票

問2で外国人を「2 雇用にに向けて手続を進めている」または「3 今後雇用を検討したい」と回答した企業にお伺いします。

問10 以下の「技能実習生を雇用する場合の概算コストについて」を踏まえてご回答ください。

### 技能実習生を雇用する場合の概算コストについて

技能実習生の一般的な給与水準として、社会保険料、税金、家賃、水道光熱費等控除後の手取額で月額10～12万円以上（総支給額で13.5～15万円以上）が必要といわれています。

また、受入れのための初期費用（日本語教育費用、旅費など）や、送出し機関、監理団体へ支払う手数料などの費用もかかります。

これらを合わせた金額を時給換算すると、実習生1人あたり時給1,000～1,200円程度のコストがかかるといわれています。

貴社の外国人労働者の雇用見込み（2020年3月末）について、送出国数及び外国人労働者数を教えてください。現時点で見込みがない場合は、0を記入してください。

	2020年3月末見込み
送出国（数）	
外国人労働者（人）	

問11 今後更に5年間で、外国人労働者を何名程度受け入れたいとお考えか、教えてください。

	2025年3月末見込み
外国人労働者（人）	

問12 今後更に5年間で、外国人労働者の受入れを増やしていきたいと考えている送出国はどこですか。（3つまで○）

- |         |           |         |         |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1 中国    | 2 インドネシア  | 3 フィリピン | 4 ベトナム  |
| 5 ミャンマー | 6 ネパール    | 7 スリランカ | 8 カンボジア |
| 9 モンゴル  | 10 その他（ ） |         |         |

問13 貴社が外国人の雇用を検討する（したい）理由についてあてはまる番号をお選びください。（いくつでも○）

- |               |                     |               |
|---------------|---------------------|---------------|
| 1 事業のグローバル展開  | 2 社内の活性化            | 3 同業他社が雇用している |
| 4 日本人が確保できない  | 5 技術取得を目指す外国人を応援したい |               |
| 6 能力が優れている    | 7 協調性がある            | 8 定着率が高い      |
| 9 特別な技術・知識がある | 10 真面目に働く           | 11 賃金が安い      |
| 12 その他（ ）     |                     |               |

問14 貴社における外国人材の受入れにあたり、重要度、優先度の高い課題について、あてはまる番号をお選びください。（3つまで○）

- |                                      |                           |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1 安定的な受入れ人数の確保                       | 2 送出国や外国人材に対する鹿児島県の認知度の不足 |
| 3 受入企業の体制整備（指導人員の不足、住居の確保、社内規定の整備など） |                           |
| 4 外国人材の優良な活用事例の共有                    | 5 賃金など処遇の向上               |
| 6 受入企業向け相談窓口の充実                      | 7 外国人材向け相談窓口の充実           |
| 8 一定レベルの日本語能力の習熟（コミュニケーション）          |                           |
| 9 文化、生活習慣の相互理解                       |                           |
| 10 多言語対応の生活環境整備（ごみ出し、公共施設利用など）       |                           |
| 11 失踪や事故等への対応                        |                           |
| 12 その他（具体的に： ）                       |                           |

問15 これまでの設問へのご回答に関する具体的な補足事項、その他外国人材受入れに関するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

問2で外国人を「2 雇用にに向けて手続を進めている」または「3 今後雇用を検討したい」回答した企業の回答は以上です。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて9月25日（水）までにポストにご投函ください。

## 2. 事業者アンケート調査票

問2で外国人を「4 雇用する予定はない」と回答した企業にお伺いします。

問 16 貴社が外国人を雇用しない理由について、あてはまる番号をお選びください。(いくつでも○)

- |                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| 1 労働力が足りている                   | 2 コミュニケーションが不安 |
| 3 生活習慣の違い                     | 4 労務管理の負担が増す   |
| 5 受入体制が整わない(住居の確保、社内規定が未整備など) |                |
| 6 離職率が高い                      | 7 雇用期間が短い      |
| 8 その他 ( )                     |                |

問 17 これまでの設問へのご回答に関する具体的な補足事項、その他外国人材受入れに関するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

問2で外国人を「4 雇用する予定はない」と回答した企業の回答は以上です。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて9月25日(水)までにポストにご投函ください。